アラブ民主化の行方
―エジプトを中心に―

6月11日(月) 18:30-20:00

開　　場・18:00
会　　場・慶應義塾大学三田キャンパス　北館ホール
申　　込・必要
オンライン登録フォームにてお申込、受付確認のメールをお受取下さい。
http://www.kilp.law.keio.ac.jp/lecture/

主　　催・慶應義塾大学法学部 法学研究所

講演者

とみたひろし
富田広士

慶應義塾大学法学部教授

■プロフィール

1974年慶應義塾大学大学法学部政治学科卒。1979年同大学大学院法学研究科博士課程単位取得退学。1990年より同大学法学部教授。

■専門分野　中東地域研究

■研究関心

1. 経済開発政策の変遷と1952年革命以降のエジプト政治史
2. 世論調査手法を用いた中東の市民意識研究

■留　学

1979-81年　エジプト、カイロ・アメリカン大学
1971-72年　米、ミシガン大学

■近年の主要論文

“Islamism, Egyptian Nationalism or Arabism?: Comparison of the 2007 Survey of the Greater Cairo Area and the Opinion Survey 2008,”
Annals of Japan Association for Middle East Studies No.27-1 (2011)

“Comparative Political Awareness of Cairo and Lebanese Citizens: A Report on the 2005 Lebanese and 2007 Egyptian Public Opinion Surveys,”
Hogaku Kenkyu 83(6) (2010)

「主要3宗派から見るレバノン市民の対外態度」小林良彰・富田広士・粕谷祐子編「市民社会の比較政治学」慶大出版会（2007年）

「中東における市民社会論の展開－1990年代以降のアラブ世界とイラン」山本信人編『多文化世界における市民意識の比較研究―市民社会をめぐる言説と動態』慶大出版会（2005年）

“Development Policy in Egypt under Zakaria Muhi al-Din’s Cabinet: 1965-1966,”
Keio Journal of Politics No.12 (2003)

■在外研究

2010-11年　カイロ
1988年　英、エクセター大学
1987-88年　ヨルダン、ヨルダン大学

6月11日講演会
お問い合わせ先

慶應義塾大学法学部　法学研究所
〒108-8345　東京都港区三田2-15-45

E-mail：kilp@info.keio.ac.jp
U R L：http://www.kilp.law.keio.ac.jp/